

この委員会での論点

(1) 委員会と部会の構成イメージ

京都府将来道路ネットワーク検討委員会

H30.11.15（本日）設立

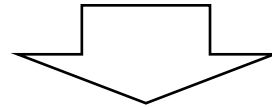
(H30～31年内に各部会2～3回開催し議論)

広域道路網検討部会

- 京都府のさらなる発展に向けた将来の道路ネットワークのあり方は？

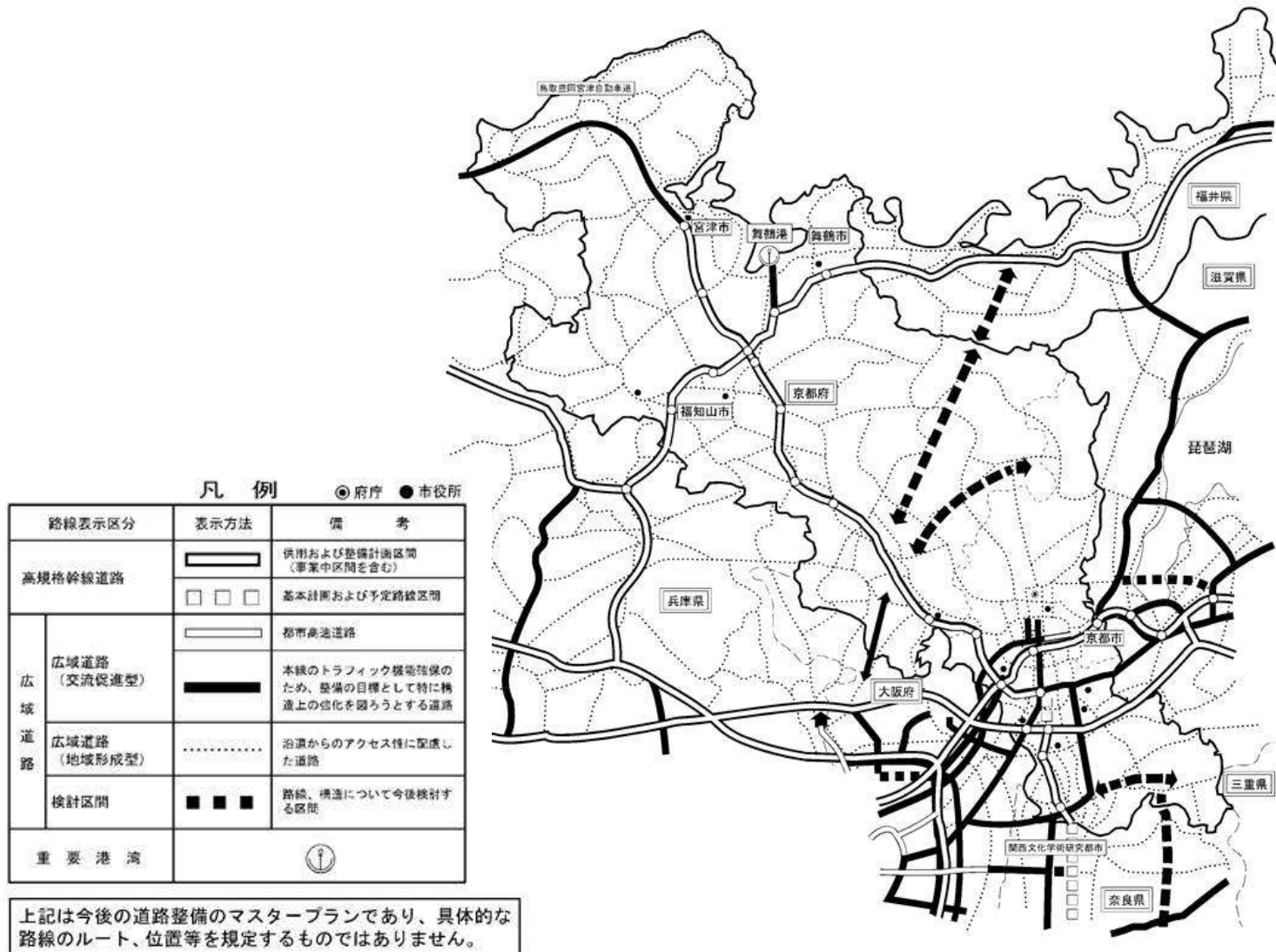
政策検討部会

- 今後の京都府の道路政策において重視すべき事項は？
- 今後取り組むべき道路サービスの質的改善、道路空間の活用の方策は？

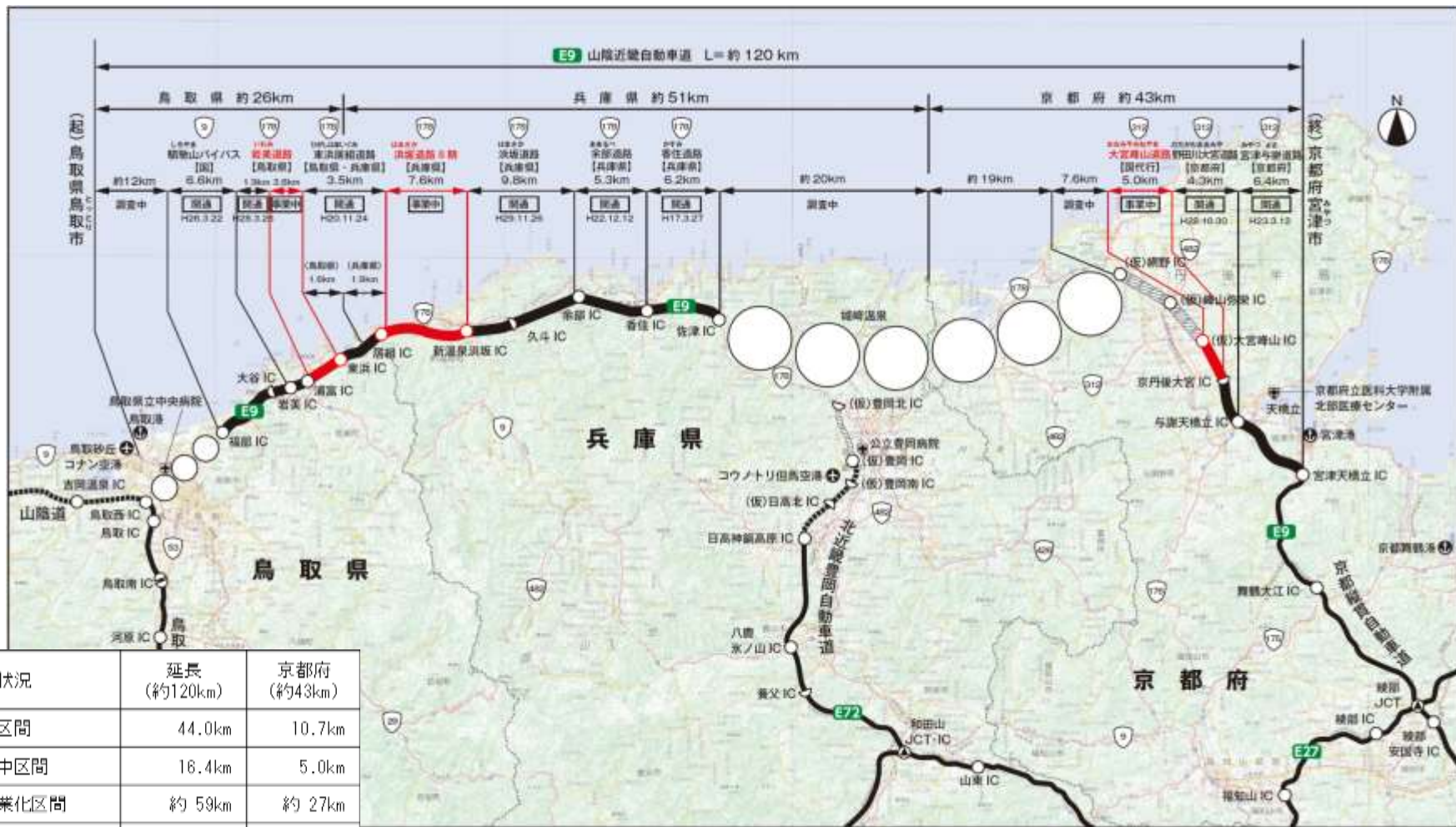


京都府の道路に関する新しい計画

- 平成10年に『京都府広域道路整備基本計画』を策定し、その中から高規格幹線道路と一体となって機能する地域高規格道路を指定
- 重要物流道路制度の導入を契機に、中長期的な**広域道路網計画の見直し**を検討



- 山陰近畿自動車道は、日本海側唯一の高規格幹線道路網の空白地帯を解消し日本海国土軸を形成する重要な道路
- 未整備区間のネットワークのあり方を検討

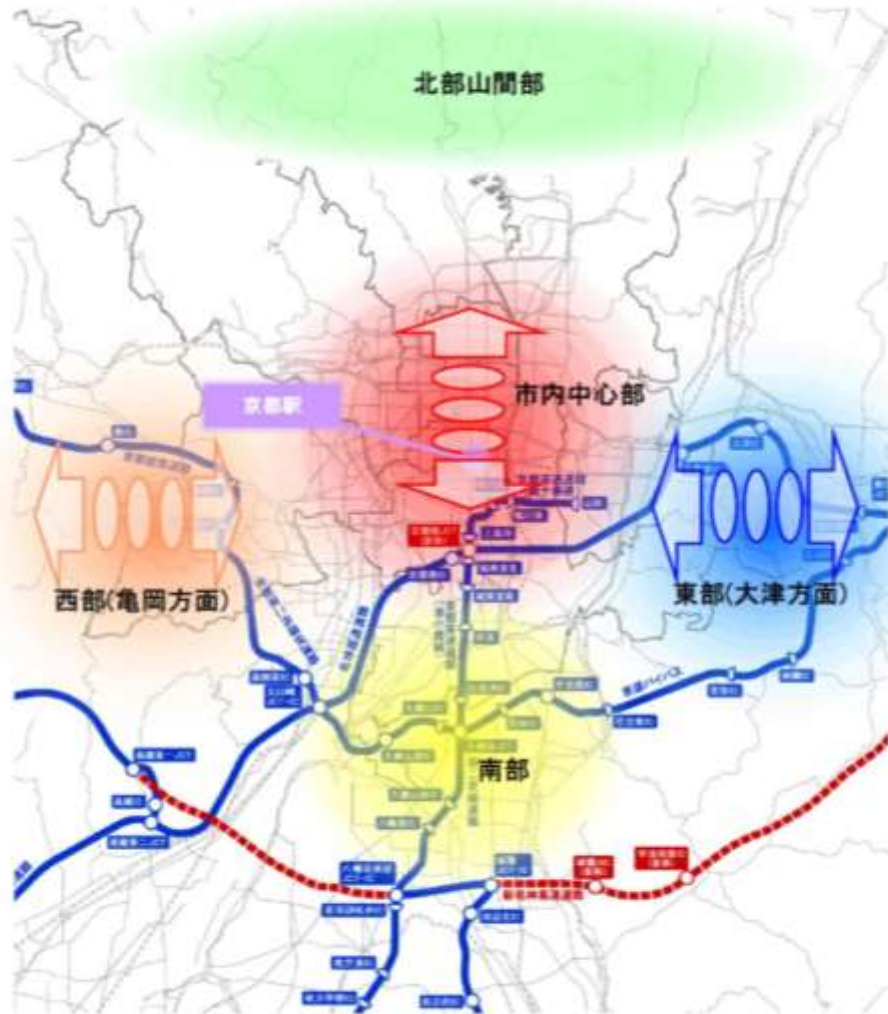


整備状況	延長 (約120km)	京都府 (約43km)
供用区間	44.0km	10.7km
事業中区間	16.4km	5.0km
未事業化区間	約 59km	約 27km
うち 都計決定済	約 40km	約 8km
うち ルート未決定	約 19km	約 19km

〇方を複製したものである。(承認番号 平28情推、第220号) 開通区間： 事業中区間： (山陰近畿自動車道) 未事業化区間： (都市計画決定済) (都市計画未決定)

『パンフレット「山陰近畿自動車道」(H30.7)』より

- 京都市では、H28.12に「将来道路ネットワーク研究会」を設置し、将来の京都市の発展にとって真に必要な道路ネットワークの在り方について議論
- 本研究会のとりまとめをふまえ、京都市圏の道路ネットワークを検討



(3) 政策検討部会 <今後の京都府の道路政策>

- 平成20年に「京の道づくり重点プラン」を策定
- この10年間の取組や社会情勢の変化をふまえ、今後10年間の道路政策の基本方針を検討

「京の道づくり重点プラン」における道路整備の重点施策

分野	重点施策
災害に対する 安心・安全の 確保	①自然災害時に力を発揮する道路ネットワーク整備
	②防災性の高い市街地形成支援のための道路ネットワーク整備
日常の暮らし を支える	③市町村合併など生活圏の広域化に対応する道路ネットワーク整備
	④安心して走れる道路整備
	⑤交通事故対策
	⑥誰もが安心して歩ける道路整備
	⑦車に頼らざるを得ない地域の道路ネットワーク整備
	⑧公共交通機関の利便性アップにつながる道路整備
環境の保全	⑨地球環境・沿道環境の改善につながる道路整備
地域の活力と 魅力の向上	⑩渋滞のない道路整備
	⑪高速道路インターチェンジへアクセスする道路整備
	⑫観光地など地域資源へアクセスする道路整備
	⑬地域の顔となる魅力的な町並みを形成する道路整備
	⑭産業の地方立地や地域振興プロジェクトを支援する道路整備
	⑮京都舞鶴港・学研都市との連携を強める道路ネットワーク整備
維持管理への 適切な対応	⑯既存施設の有効利用
	⑰道路のかしこい維持管理（アセットマネジメント）



10年間の主な取組・成果等

- ⇒ 高速道路整備の進捗
 - ・ 京都縦貫自動車道の全線開通 (H27. 7)
 - ・ 京丹後市から木津川市まで南北140kmが高速道路でつながる (H29. 4)
 - ・ 高速道路供用延長 (㉑186km → ㉒231km)
- ⇒ 京都府管理道路における各施策の進捗
 - ・ 改良済み道路延長 (㉑1, 286km → ㉒1, 376km)
 - ・ 緊急輸送道路における橋梁の落橋対策 (㉑完了)
 - ・ 緊急輸送道路の法面防災対策 (㉑116箇所 → ㉒147箇所)
 - ・ 歩道整備済延長 (㉑683km → ㉒745km)
 - ・ 道の駅登録数 (㉑8箇所 → ㉒12箇所)
- ⇒ 新たな計画の策定等
 - ・ 統合型GISの活用による道路情報提供システムの開始 (H21. 6)
 - ・ 道路法に基づく府道の構造の基準に関する条例制定 (H24. 7)
 - 自転車道・歩道幅員選定フロー図の作成
 - ・ 京都技術サポートセンター設立 (H28. 4)
 - ・ 京都府国土強靱化地域計画策定 (H28. 11)
 - ・ 京都府公共施設等管理方針策定 (H29. 3)